

【竹取物語】の進行に合わせた効果音セット

	ストーリー	効果音
1	昔々あるところに、竹取の翁という人がいました。ある日、竹を取っていると、1本の光る竹を見つけました。割ってみると、竹の中から小さな美しい女の子がでてきました。	C3:オープニング(和) C#3:不思議な光 D3:宮廷
2	翁はその女の子を「かぐや姫」と名付け、大切に育てました。	D#3:ハッピー(和)
3	やがて大変美しい娘に育ったかぐや姫のもとに、5人の男子が求婚に訪れました。	E3:こっそり
4	すると、娘が5人の男子にそれぞれ結婚の条件として、無理難題な要求を出しました。	F3:ちぐはぐ
5	1人目の男子は「天竺の仏様が使った鉢」を頼まれました。偽物の鉢を用意しましたが、見破られてしまいました。	F#3:アドベンチャー(洋) G3:はずれ
6	2人目の男子は「蓬莱山の玉の枝」を頼まれました。職人を集めて偽物を作らせましたが、ばれてしまいました。	G#3:アドベンチャー(洋) A3:はずれ
7	3人目の男子は「火鼠の皮衣」を頼まれました。手に入れて持って行きましたが、偽物だと分かりました。	A#3:アドベンチャー(洋) B3:はずれ
8	4人目の男子は「龍の持っている玉」を頼まれました。探しに行きましたが、途中で船が沈みかけ、探すのをあきらめました。	C4:アドベンチャー(洋) C#4:はずれ
9	5人目の男子は「ツバメが生む子安貝」を頼まれました。取りに行きましたが、失敗し、病気になってしまいました。	D4:アドベンチャー(洋) D#4:はずれ E4:場面転換(未解決)
10	姫のうわさを聞いた帝も求婚に訪れますが、帝も姫をあきらめました。	F4:場面転換(和やか)
11	何年かたち、月を見て泣くようになったかぐや姫は、翁に自分は月からやってきたのだと明かしました。	F#4:ロントリー(和)
12	十五夜の月の晩に、月からの使者がかぐや姫を迎えに現れました。	G4:不思議な光
13	月の使者とともに、かぐや姫は天に昇って行きました。	G#4:お別れ A4:エンディング(和)